

引き染め



引き染めとは、独特のグラデーションが表現できる友禅染めの技法で、生地を両端を張り木で引っ張り、伸子とよばれる竹籤で生地の横方向をのばし、厳選されたこだわりの刷毛を用いて染料を引いて（塗って）染める方法です。均一にむらなく染める事を「ひっきり」「ひききり」、ぼかして染める事を「ぼかし染め」とよび、美しく染め上げるには長年の経験と確かな技が必要です。

一宮株式会社の引き染めは、京都の伝統工芸士によって、一品一品手づくりの温もりある商品を創り出しています。



製造工程



生地を両端を張り木（はりき）で引っ張り、伸子で生地の横方向をのばした後、生地のシワを伸ばし、染料の乗りを良くする為に海草や大豆の豆汁を刷毛で引く「地入れ」をします。「生地を引っ張る」「刷毛で染料を引く」ことから『引染』と呼ばれています。



染料を色見本の色と合うように調合するため、引染をする生地と同じ小ぎれに、同じ条件の地入れをしてから調合した染料液をつけ、乾燥後に蒸気にあてます。生地のおおきさで色の見え方も変わり、実際の染め上りの色を合わせるには長年の経験が必要です。



染料液を生地にむらなく均一に染める為には手早く行う必要があります、ぼかしの場合は仕立てた時、柄のつなぎ目が合うように染めるため、高い技術が必要な工程です。その後、生地全体をあぶり車（火車）で、湯気が出る程度にあぶり、染料の移動を止め、自然乾燥で乾かします。最後に、蒸し・水洗いをして色を定着させます。

www.the.kyoto.jp

一宮株式会社

〒615-8174 京都市西京区榎原中垣外7-1
TEL075-394-7011(代) FAX075-394-7022